

登下校の安全等についてよろしくお願いします

12月中旬なのに、一気に冬モードになってしまいました

日曜日の秋田さきがけ新報に、「県南大雪、横手55センチ」とあるように、金曜日からの大雪で一気に冬モードになってしまいました。



雪の小倉山と小倉門です。12月16日撮影

私の住む地域では、朝2時頃に除雪車が来ます。その気配を感じると少し憂鬱になりますが、朝、除雪作業で一汗流してからの出勤です。保護者の皆様も、除雪作業や通勤等にご苦心なされていることと思います。

今後、降雪・除雪等により道幅が狭くなり、見通しのきかない箇所もでてくるのが予想されます。また、屋根や樹木からの落雪の心配もあります。

生徒たちが安全に登下校できるように、学校でも注意を喚起いたしますが、ご家庭でも朝の登校時の声かけ、また、生徒の送り迎え等の交通安全をよろしくお願いいたします。

目に見えない世界に生徒がいるV

LINE・トラブル

光と影:人間関係大丈夫?

最近感じるのですが、大切な話をしているのにケータイ等が鳴ると、すぐに席を外して通話をする人が増えてきました。たいへん残念なことです。

相手を見て、表情を感じて会話をするのが人間関係の基本です。しかし、表情を読み取ることのできないLINE等の普及で、人間関係、家族関係が徐々に、そして確実に変化してきているように感じます。

10月の情報モラル講習会后、講師の千葉薫さんから「スマホ等の光と影」というお話を伺いました。

光の部分: 大変便利で、生活環境をより豊かにする。

影の部分: しっかりとした気持ちで使用しないと人間関係や日常生活に影響を及ぼす。

光と影があることをしっかりと理解し、スマホ等の機器を使用する必要があると思います。

学校では、ケータイ、スマホ等は、中学校生活には必要ないと考えています



栄光・榮譽

先日12日、秋田法務局大曲支局長さん、大曲人権擁護委員協議会長さんがお出でになり、入賞者した2名の生徒を表彰してくださいました。

また、本校が、継続して長年人権作文コンテストに応募していることが認められ、感謝状もいただきました。

中学生人権作文コンテスト

支局長賞 伊藤ちひろ 藤元 愛桜

感謝状 角館中学校



1階廊下の「てるてる坊主」です

12月18日 6:30
2年生、修学旅行出発!

見て、聞いて、味わって、触れて、しっかりと沖縄を感じてきてほしいと思います。そして、ふるさとの良さも再発見してきてください。



1階廊下の「てるボール?・・・」

読み聞かせコンサート開催：3年生（11/14）、2年生（12/6）、1年生（12/10）

読書の継続で、さらに心を豊かに！

「読み聞かせコンサート」の会の方々が、音楽にのせて、1年生に「クリスマストレイン」、2年生に「いのちのふね」、3年生に「TSUNAMI! 津波」の絵本を朗読してくださいました。

生徒たちも真剣な表情・態度で聞き入っており、心を静め、心が豊かになった一時でした。

読書の大切さについては、下記の言葉に語り尽くされていると思いますので紹介します。

濱里忠宣氏 「読書はいのちの地下水」

本とは不思議なものである。

その一冊は、人間という一人の存在がそうであるように、かけがえのない、いのちを秘めた存在である。

とりわけ、若き日には、その時読まねばならぬ、代替のきかぬ本がある。

その時を失わぬ読書体験こそ、生きる力としての、いのちの地下水になるのだと、私は思う。



読み聞かせコンサート中です（1年生）



12月になり、図書室もクリスマスモードです